

13. 水玉の女王

日本人はブランド品が大好きで、特に欧米のブランド品には目がない。海外旅行に出かけると老若男女を問わず、ブランド品を購入して戻ってくる。数あるブランド品の中で、日本の女性の憧れの対象となっているのは、何と言ってもルイ・ヴィトンではなかろうか。ルイ・ヴィトンと聞いて、誰もがすぐに思い浮かべるのは、L と v が重なった文字に花をシンプルにデザインした**モノグラム ***という模様に違いない。ところが、先日ルイ・ヴィトンの店の前を通った時、ショーウィンドーから私の目に入ってきたのは、モノグラムではなく、真っ赤な水玉が無数にプリントされた模様だった。気になったので、**家に帰り次第 ****インターネットで検索してみると、この模様はルイ・ヴィトンが草間彌生というアーティストとコラボレーションして作ったものであることが分かった。

草間彌生は、水玉をモチーフにした作品で有名な前衛芸術家だ。草間は子供の頃から統合失調症に悩まされ、その幻聴や幻覚から逃れるために絵を描き始めたという。京都の美術学校で日本画を学んだが、伝統を重視する日本画になじめず、1952 年にニューヨークに渡り、絵画や彫刻の他に立体を使った作品などの制作も始める。次第に評価を得るが、1973 年に体調を崩して日本に戻る。

幻聴や幻覚から発想を得て、原色を使って描かれた作品は見る者を圧倒する力があり、ロンドンのテート・モダン及びニューヨークのホイットニー美術館などで個展を開き、世界の 100 以上の美術館が彼女の作品を所蔵しているという。このように世界から高い評価を受けている一方、ルイ・ヴィトンとのコラボレーションや携帯電話のデザインなどを手がけている草間を芸術家というよりはビジネスに偏りすぎていると批判する人達も少なからずいる。

現在、草間は自宅ではなく病院に入り、そこで治療を受けつつ、スタジオに通い作品の制作を続けている。草間は絵を描くことは病気と戦うことでもあると発言しており、高齢にも関わらず命が続く限り絵を描き続けるつもりである。賛否両論がある彼女への

評価であるが、草間彌生が芸術家として 50 年後の世界でどのような評価を受けているか見てみたいものである。

単語リスト：

老若男女（ろうにゃくなんにょ）	Nam nữ ở mọi lứa tuổi (Già trẻ trai gái)	重視（じゅうし）	Coi trọng, chú trọng
購入（こうにゅう）	Mua vào, nhập vào	彫刻（ちょうこく）	Điêu khắc
模様（もよう）	Hoa văn	原色（げんしょく）	Màu sắc cơ bản
水玉（みずたま）	Chấm bi	圧倒（あつとう）	Choáng ngợp, áp đảo, vượt trội
検索（けんさく）	Tìm kiếm	所蔵（しょぞう）	Lưu trữ, sưu tập
幻聴（げんちょう）	Ảo giác thính giác (Nghe nhầm)	偏り（かたより）	Mất cân bằng
幻覚（げんかく）	Ảo giác (Nhìn nhầm)		